

2025年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社アートフォースジャパン
(コード番号 5072 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 喜廣
問 合 せ 先 取締役経営統括本部長 野崎 昭彦
電 話 番 号 0557-45-1109
U R L <https://www.artforcejapan.co.jp/>

第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期中間期連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)の業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)の業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,381	百万円 20	百万円 3	百万円 △7	円 銭 △30.59
当中間期実績(B)	2,494	38	25	100	402.07
増減額(B-A)	112	18	21	108	
増減率(%)	4.7	94.5	597.4	—	
(ご参考) 前中間期実績 (2024年12月期中間期)	2,092	△1	△10	△11	△45.33

2. 差異の理由

当中間期連結会計期間につきましては、「地盤改良事業」、「建築事業」の報告セグメント売上高は当初予想より、131百万円上回りました。一方、「その他事業」の報告セグメント売上高は、18百万円下回る結果となりました。

また、利益については、資源及び原材料価格の高騰と技術者の高齢化による働き手の減少等の課題に対処すべく、売上原価率の上昇を抑えるべく様々な施策を実行し、経費の縮減に努めたものの、売上原価は当初予想より127百万円を上回った結果、売上総利益は14百万円下回りました。販売費及び一般管理費は売上原価同様に諸経費の縮減等に努めた結果、当初予想より33百万円減少し、営業利益は当初予想より18百万円上回り、38百万円の営業利益となりました。経常利益は当初予想より21百万円上回り、25百万円の経常利益となりました。特別損益は、子会社クラウン工業株式の譲渡に伴い、子会社株式売却益88百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、法人税等が当初予想より10百万円増加いたしましたが、当初予想より108百万円上回り、100百万円の親会社株主に帰属する中間純利益となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、海外情勢の緊迫化等や資源価格及び原材料価格の高騰が継続しているほか、物価上昇による個人消費への影響や住宅着工戸数の推移など、景気への影響が不透明な状況が続くものと見込まれ、現時点で合理的に算定することが困難であるため、2025年2月14日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。但し、今後、合理的な算定が可能となった時点で修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因の変化により、予想と異なる場合があります。